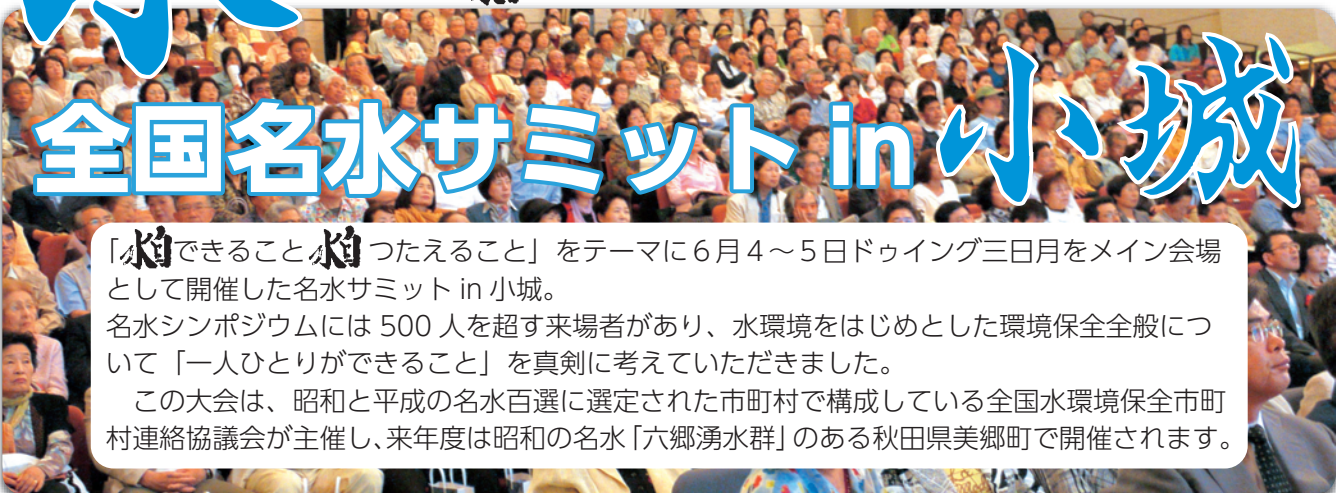


水みずからに感謝！まずはみずから水行動を

みずから水とは「水から」と「自ら」のふたつを掛け合わせた造形文字です。



全国名水サミット in 小城

「水みずからできること 水みずからつたえること」をテーマに6月4～5日ドゥイング三日月をメイン会場として開催した名水サミット in 小城。

名水シンポジウムには500人を超す来場者があり、水環境をはじめとした環境保全全般について「一人ひとりができること」を真剣に考えていただきました。

この大会は、昭和と平成の名水百選に選定された市町村で構成している全国水環境保全市町村連絡協議会が主催し、来年度は昭和の名水「六郷湧水群」のある秋田県美郷町で開催されます。



「みんなの夢 輝け清水川・祇園川」

岩松小学校の6年生が環境学習として1年間取り組んできた成果を発表。子どもたちの一生懸命さが会場の参加者の心に伝わって、中には目頭を押さえる人もあり「一人ひとりが何をすべきか」を改めて考えさせられました。岩松小学校6年生のみなさん、ありがとうございました。

基調講演

「心に木を植える」

作家・ナチュラリストのC.W. ニコル氏が、自ら手がけた森の再生活動を映像などを交えて紹介されました。

ユーモアを交えた分かりやすいお話で「心のふるさと“美しい森”を未来の子どもたちに」と提言されました。



—小城宣言—

中学生を筆頭に市内5団体の方々に、この名水サミットを契機として、まずは自分たちが“できること、つたえること”を力強く宣言していただきました。



パネルディスカッション

富吉賢太郎氏をコーディネーターに、4人のパネリストによるそれぞれの専門的分野から見た水に関わる環境について熱く語っていただきました。

6月5日（オプションツアー）

県外から参加された方に小城市内の名所を訪ねていただきました。小城の自然や文化を十分感じていただけたと思います。

ご協力ありがとうございました。

名水サミット in 小城は、環境省、佐賀県をはじめ多くの方々のご協力を賜り無事終了することができました。心から感謝申し上げます。

これを契機として、水環境だけでなくあらゆる環境の保全について、私も「みずからやるぞう」となって市民の方と一緒に精一杯取り組んでまいります。ありがとうございました。



小城市長 江里口秀次

<来年度開催地秋田県美郷町の松田町長と江里口小城市長>

